

公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2026 年 5 月 25 日（月）13 時 00 分～14 時 30 分

場 所：日本天文学会事務所（オンライン開催）

出席理事：太田耕司、長尾透、深川美里、永井洋、勝川行雄、美濃和陽典、鈴木竜二、安東正樹、
日下部展彦、和泉究*、大朝由美子、新沼浩太郎、米原厚憲、本田充彦、寺田幸功、
新永浩子、山村一誠（*途中から参加）

出席監事：大内正己、熊谷紫麻見

欠席監事：中村文隆

また、一丸事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、理事総数 17 名のうち、出席者が 16 名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

I-2. 太田会長、長尾副会長、深川副会長、大内監事、熊谷監事が署名人となることを確認した。

I-3. 前回議事録の確認

資料 2 に基づき、前回（2026 年 3 月 2 日）の理事会議事録が報告され、承認された。

II. 議題

日本天文学会の 2025 年度事業・会計に関して太田会長が総括し、永井庶務理事に事業報告の説明、美濃和会計理事に決算報告の説明をそれぞれ指示した。また、続く各議題に関しても太田会長より提案され、各担当理事に詳細説明を指示した。

II-1. 日本天文学会 2025 年度事業報告の承認（資料 4、永井）

2025 年度の事業報告が説明された。賛成多数で承認された。

II-2. 日本天文学会 2025 年度決算書の承認（資料 5、美濃和）

決算説明の要点をまとめた資料を共有することにした。2025 年度の決算書について報告された。賛成多数で承認された。

II-3. 特定資産（減価償却引当資産）の処分および一般正味財産への振替について（資料 6、美濃和）

特定資産の「減価償却引当資産」が過大となっており、流動資産（一般正味財産）へ振り替えるとともに以降の減価償却費の積立を行わないことが提案された。これまでの経緯について事務長補佐より補足説明がなされた。賛成多数で承認された。

II-4. 新規加入者の承認（資料 7、勝川）

2026 年 2 月 26 日～2026 年 5 月 20 日までに正会員入会申請 31 名、準会員入会申請 11 名、準会員から正会員への移籍 1 名の申請があり、賛成多数で承認された。

II-5. PASJ 編集委員会からの議題（資料 8、安東）

X 線分野では投稿論文数が多いため 10 月から内田裕之氏を委員として追加することが提案され、賛成多数で承認された。

II-6. 日本天文学白書委員会の増員（資料 9、永井）

平松正顕氏、高橋亘氏、野津湧太氏を追加することが提案され、賛成多数で承認された。

III. 報告

III-1. 日本天文学会 2025 年度監査報告（資料 3、熊谷）

事前に提出された 2025 年度の事業報告書および財務諸表に基づき、2026 年 5 月 12 日に監査を行った。各種事業の運営と予算の執行に基づき、事業報告書および財務諸表が報告に従って適正に作成されていることを確認したことが報告された。

III-2. 移籍・退会等の報告（資料 7、勝川）

2026 年 2 月 26 日～2026 年 5 月 20 日までに正会員から準会員への移籍 2 名、正会員 213 名、準会員 55 名、賛助会員 2 団体の退会があったことが報告された。

III-3. PASJ 編集委員会からの報告（資料 8、安東）

OUP との 2025 年決算に基づく分配金（含む AI 学習用の論文二次利用料）、および、本文掲載料半額キャンペーンの実施状況が報告された。論文増加に伴い編集委員の負担が増えていること、本文掲載料半額キャンペーンは継続中のため今後も状況報告することなど意見交換された。

III-4. 天文教育委員会からの報告（資料 10、大朝）

2026 年秋季年会にて、「公開天文台 100 周年：天文研究・教育における公開天文台のこれまでとこれから」をテーマとして日本天文教育普及研究会と共催で天文教育フォーラムを開催すること、講師紹介プログラムに 5 件、監修者紹介プログラムに 1 件の紹介を行ったこと、全国七夕同時講演会の周知を行うこと、中高生・教員と若手研究者の「天文対話」第三回を春季年会に実施したこと、女子中高生夏の学校への参加を男女共同参画委員会と連携して準備していること、IAU OAE の活動報告が行われた。

III-5. コンプライアンス委員会に関する内規の改定および行動規範に関する細則の制定についての中間報告（資料 8、長尾）

コンプライアンス委員会の内規の改訂案、行動規範に関する細則案の中間報告がなされ、意見集約の後、9 月の理事会・代議員総会で議決を予定していることが申し添えられた。

III-6. 年会実行委員会からの報告（資料 9、和泉）

2026 年春季年会（京都産業大学）の開催状況、2026 年秋季年会（岡山理科大学）の準備状況が報告された。秋季年会では、ベストエフォートのハイブリッド形式とすること、6 月に現地見をすることが報告された。また、新年会システムについては、導入準備と実装を経て 5 月 20 日に納品されたこと、今回が初めての利用となるため投稿期間をこれまでよりも長く設定すること、システム導入に伴う年会実行委員の負担増加を緩和するため、今回は企画セッションを実施しないことが報告された。

III-7. 各事業の報告（各担当理事）

日下部月報理事より公開天文台 100 周年で特集号を組む予定であることが報告された。新永ダイバーシティ理事より、女子中高生夏の学校と天文天体物理夏の学校に協力することが報告された。また、前回の春季年会における天文教育フォーラム・特別セッション・公開講演会の登壇者に男性が多かったことが指摘され、登壇者の選考の際にジェンダーバランスを意

識する必要があることが共有された。山村ジュニアセッション担当理事より、ジュニアセッションにおけるアンケート結果で準会員の認知度が低く認知度向上の必要があることが報告された。本田年会開催地理事より、岡山での秋季年会中の懇親会開催のために、国立天文台岡山分室も協力していることが報告された。

III-8. 事務所近況報告（一丸）

内閣府に若手国際交流研究会基金の創設、2026 年度事業計画と予算を提出したこと、2025 年度事業計画と決算は、代議員総会での承認後、内閣府に届け出ることが報告された。

[資料リスト]

- 資料 1 理事会出欠表
- 資料 2 公益社団法人日本天文学会理事会（2026 年 3 月 2 日）議事録（案）
- 資料 3 日本天文学会 2025 年度監査報告書
- 資料 4 公益社団法人日本天文学会 2025 年度事業報告書（案）
- 資料 5 特定資産（減価償却引当資産）の処分および一般正味財産への振替について
- 資料 6 公益社団法人日本天文学会 2025 年度決算書類（会計関係）
- 資料 7 加入者・移籍の承認、退会者報告（2026 年 2 月 26 日—2026 年 5 月 20 日）
- 資料 8 PASJ 編集委員会からの議題と報告
- 資料 9 日本天文学白書委員会の増員
- 資料 10 天文教育委員会からの報告
- 資料 11 コンプライアンス委員会に関する内規の改訂案、行動規範の細則の案
- 資料 12 年会実行委員会からの報告

2026 年 5 月 25 日

会 長： 太田 耕司 印

副会長： 長尾 透 印

副会長： 深川 美里 印

監 事： 大内 正巳 印

監 事： 熊谷 紫麻見 印